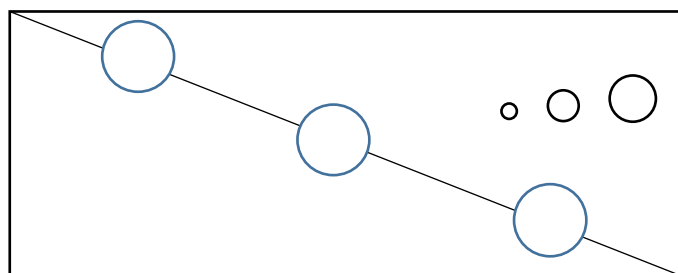


採水方法

【採水前の注意】

- ◎ 採水時の手洗い： 雑菌混入を防ぐために、採水前に手の殺菌消毒をする。
- ◎ 飲料水： 5分以上流水をさせた後に、採水を行ってください。
- ◎ プール水： 手の届かないときは、別のきれいな容器でゴミ等が入らないように採水し、この水を採水瓶に移してください。手の届くときは、遊泳者の間近の採水は避け、直接採水瓶を水面下約20cmに沈めて採水してください。

【プール水の採水場所は？】



プールの対角線上3か所
水面下20cmと排水口

【採水方法】

- ◎ 過マンガン酸滴定・塩化物イオン・色度・濁度用[プール(水面下20cm)及び水道水]
ポリ容器に検水を、共洗い(2~3回)して採水してください。このとき、出来るだけ空気が入らないように検水を一杯に入れてから蓋をしっかりと閉めてください。
- ◎ 一般細菌・大腸菌用[プール(水面下20cm)及び水道水]

滅菌瓶や蓋の内側に直接触れないように、蓋を開けて静かにずらしながら、検水が泡立たないようにゆっくりと採水が満水の9割以上(120ml以上)になるまで採水し、蓋をしっかりと閉めてください。

(注) 滅菌採水瓶の中には、**チオ硫酸ナトリウムが入っているので、ぜったいに共洗いはしないでください。**

《容器内のチオ硫酸ナトリウムは残留塩素の除去を行うためのものです。検査を行う際に振り混ぜやすくするために採水瓶口から水面までに空間が残るように採水してください。》

- ・細菌検査以外で採水する場合ボトルを共洗いして採水
- ・外部機関で検査する場合、採水後、ボトルに日時、学校名、採取場所等を記載しアイスボックスに検体を入れ輸送し、12時間以内に測定する。また、学校—教育委員会—依頼機関とあらかじめ連携を確認しておく。

採取後、速やかにアイスボックス等に入れて保冷し、できるだけ早く運搬してください。

飲料水検査における採水方法



採水容器 飲料水検査 11 項目セット

左：①化学検査用 250ml 右：②細菌検査用 200ml

① 理化学検査の採水方法



① 栓や給水管内に滞留している水を流出させ、蛇口部分を洗浄するため、数分間勢いよく水を流します。



② 水量を絞り、採水時に飛び跳ねない程度に調整します。



③ ①の容器を検水で数回洗浄し、採水します。
できるだけ満杯にして、上蓋をきつく締めて漏水のないことを確認して下さい。



④ できるだけ満水にして下さい。

② 細菌検査の採水方法



- ① 採水前によく手を洗って下さい。

水栓の蛇口部分は、細菌が繁殖していることが多いため、消毒用エタノールや除菌シートで綺麗に拭き取るか、若しくは蛇口が金属部品だけなら、ライターなどで軽くあぶって火炎滅菌するのも効果的です。



- ② 栓や給水管内に滞留している水を流出させ、蛇口部分を洗浄するため、数分間勢いよく水を流します。

- ③ 水量を絞り、採水時に飛び跳ねない程度に調整します。



- ④ 包装内は滅菌された状態ですので、使用直前に開封し、速やかに使用します。

上蓋を取り外し、蓋の内側を下にして片手で持ったまま、他方の手で採水容器を持ち、容器を少しだけ斜めにした状態で採水します。

採水が終わりましたら、すぐに上蓋をきつく締めて漏水のないことを確認して下さい。

*すすいだり、一旦捨てて取り直さないで下さい。



- ⑤ ラベルに必要事項を記入し容器に貼り付けます。

依頼書、採水容器①②を1セットとして、袋に入れ、お持ち込み下さい。

一般社団法人 埼玉県食品衛生協会検査センター

連絡先 048-649-5332